

基礎看護学実習Ⅱ ルーブリック

項目	全くできなかった	あまりできなかった	概ねできた	できた	かなりできた
1. 健康問題をかかえる対象等への理解					
(1) 対象や家族の変化を表現できる	対象を理解し、自らの看護観を考慮することができなかった	対象を理解し、自らの看護観を考慮することがあまりできなかった	対象を理解し、自らの看護観を考慮することが概ねできた	対象を理解し、自らの看護観を考慮することができた	積極的かつ主体的に対象を理解し、自らの看護観を考慮することがかなりできた
(2) 対象の心理、治療への理解を表現できる					
(3) 対象や家族の思いに寄り添うことができる					
(4) 自らの人間観や看護観について表現できる					
2. 情報を意図的に収集し、看護問題の明確化					
(1) 情報を収集し、整理することができる	情報収集、アセスメント、対象のニーズの把握ができなかった	情報収集、アセスメント、対象のニーズの把握があまりできなかった	情報収集、アセスメント、対象のニーズの把握が概ねできた	情報収集、アセスメント、対象のニーズの把握ができた	積極的かつ主体的に情報収集、アセスメント、ニーズの把握がかなりできた
(2) 情報の意味を解釈し、関係を整理できる					
(3) 看護問題や対象のニーズを表現できる					
(4) 問題点とニーズの優先順位を説明できる					
3. 対象に応じた援助のあり方を考える					
(1) 看護目標（長期・短期）を設定できる	看護目標の立案、計画実施ができなかった	看護目標の立案・実施・修正があまりできなかった	看護目標の立案・実施・修正が概ねできた	看護目標の立案・実施・修正ができた	積極的かつ主体的に取り組み看護目標の立案・実施・修正がかなりできた
(2) 個別性のある計画を立案し、実践できる					
(3) 看護計画の評価ができる					
(4) 記録の追加・修正ができる					
4. 必要な資源やチーム医療の役割への理解					
(1) 多職種存在や役割を表現できる	連携の重要性を理解することができなかった	連携の重要性をあまり理解することができなかった	連携の重要性を概ね理解することができた	連携の重要性を理解することができた	主体的に連携の重要性を理解することができた
(2) 医療スタッフ間での情報共有の方法を表現できる					
(3) チーム医療における看護師の役割を表現できる					
5. 看護学生として適切な態度で行動する					
(1) 自身の体調管理、身だしなみを整える	看護学生として適切な態度で行動することができなかった	看護学生として適切な態度で行動することが一部できなかった	看護学生として適切な態度で行動することが概ねできた	看護学生として適切な態度で行動することができた	主体的に取り組み、看護学生として適切な態度で行動することができた
(2) 個人情報の管理を適切に行うことができる					
(3) 必要な報告・連絡・相談を行うことができる					
(4) 主体的かつ積極的に意見交換することができる					
(5) 真摯な態度でのぞむことができる					